

第16回 高校生議会

昨年12月17日(土)、市内5つの高等学校と富士宮高等専修学校から選出された17人の高校生議員が、普段感じていることや疑問に思うことを、市議会本会議場で市当局に投げかけました。

高校生議員は、12分の持ち時間を活用し、議論を繰り広げました。高校生議会の様子は、市公式ウェブサイトで見ることができます。

HP トップページ>富士宮市について>広聴・広報>広聴>高校生議会

☎ 広報課 ☎22-1119



富士宮東高等学校2年
望月 愛美 議員

タバコのポイ捨てを減らす対策

ポイ捨てされたタバコの吸い殻をよく見かけますが、タバコの吸い殻は、景観を損なうだけでなく不快である。タバコのポイ捨てを減らすことは、SDGsの目標である「住み続けられるまちづくり」にもつながると思う。

路上喫煙に対する条例を強化したり、喫煙所を増設してはどうか。



富士宮東高等学校2年
渡邊 暁海 議員

災害時のペットの避難

災害時のペットの避難について周知が不足していると思う。

県が作成した避難所のペット飼育管理ガイドラインには「避難所のペットスペースでは飼い主が全責任を持ってペットを飼育管理すること」が書かれている。

ペットとその家族が安心して避難できるように、ペットの避難について詳しく記載した冊子を作り周知してはどうか。



富士宮東高等学校1年
坂上 大高 議員

障がい者と関わる取り組み

市では、健常者と障がい者が融合イベントなどの周知が不足していると思う。

障がい者と関わる機会が増えることで、お互いの考えを「知る」気づく「理解する」ことができると考えるため、市が主体となってより大きな規模で、またさまざまな場所でイベントを開催してはどうか。

また、中学生や高校生にも運営に参加してもらおうのはどうか。



富士宮高等学校2年
酒井 萌衣 議員

市のSNSの活用方法

市のSNSは、若者の目を引く情報ではないと思う。

映画やドラマ、CMなどの撮影現場を、若者の中で流行している「聖地巡礼」の一つとして、ハッシュタグなどをつけてSNSで発信してはどうか。

若者の目を引くSNSにするために、市役所と高校生が連携する運営委員会を立ち上げ、若い世代の意見を取り入れてはどうか。



富士宮高等学校2年
勝亦 海吏 議員

E-BIKEなどの活用

市では、E-BIKEを使って観光施設や名所を巡る活動をPRしたり、E-BIKEの貸し出しを行っている。さらに活動を進めるため、街中に自転車工具やシャワールーム、ロッカー、メンテナンススペースなどを備えた「サイクルステーション」を設け、E-BIKEの魅力を伝えたり交流できる場にしてはどうか。



富士宮高等学校1年
新井 琉杏 議員

精神病介護者のメンタルケア支援の仕組み作り

うつ病患者や介護者への支援が不足しているように思う。

精神的な問題を抱える人たちに柔軟に対応でき、患者と介護者の双方の社会復帰につなげるため、「介護疲れの人が突発的に逃げ込めるセカンドハウスの設置」「介護者が交流できる場を設けること」「支援情報を積極的に発信すること」を行ってはどうか。



富士宮北高等学校2年
田中 沙雪 議員

イメージキャラクター「さくやちゃん」

市のイメージキャラクター「さくやちゃん」を多くの人に知ってもらい、地元愛を強めてもらうため、季節に合わせた「さくやちゃん」の衣装を学生がデザインするコンテストを開催してはどうか。

また、最優秀作品に選ばれたデザインの衣装を作り、「さくやちゃん」が着たり、他の作品のデザインを市役所などで紹介してはどうか。



富士宮北高等学校2年
吉野 舞 議員

看護を学べる学校

看護を学ぶには、他市の学校に通うことになり負担が大きい。

市の看護師不足の緩和や地域のにぎわいにもつながると考えるため、休校している学校や使用していない校舎を看護学校に造り変えてはどうか。市で造ることが難しい場合は、学校法人を募ることはできないか。



富士宮北高等学校1年
杉山 栞奈 議員

市歌を広める活動

富士宮高校会議所の活動で、先輩が市歌を演奏した際、歌える人がほとんどいなかった。市歌を知らない人が多いのは悲しいことだ。と思う。幼い子からお年寄りまで、誰もが歌うことができる市歌になってほしい。

市歌に愛着を持つことは市に愛着を持つことにつながるため、同報無線で放送したり、学校で市歌を練習してはどうか。